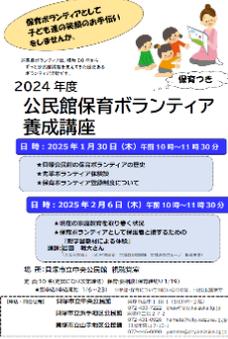


親学習リーダー養成出張研修 貝塚市

令和7年2月6日(木)



貝塚市のチラシ

貝塚市立中央公民館において、令和7年2月6日(木)、貝塚市の要請により、親学習リーダー養成出張研修を実施しました。貝塚市では、「貝塚公民館3館連携事業 保育ボランティア養成講座」が実施されています。

本研修では、「大阪府の家庭教育支援の取組み」と題して、家庭教育支援が必要な背景を学んでいただき、親学習の模擬ワークショップを体験していただきました。

【講義】大阪府の家庭教育支援の取組み

はじめに、「大阪府の家庭教育支援の取組み」について、講義を行いました。家庭教育支援が必要な背景や大阪府が推奨する参加体験型の親学習の進め方等を説明しました。参加者のみなさまは、メモをとり、うなずきながら熱心に聞いておられ、その積極的な様子がとても印象的でした。

【体験】親学習教材「がまんする」

続いては、ワークショップによる親学習を模擬体験していただきました。親学習教材「がまんする」のエピソードを読み、「エピソードを読んで気になるところ」などについて感じたことを話し合いました。短い体験時間でしたが、参加者からは「このエピソードみたいなことは最近もあった。」「今まさに悩んでいる」「私ならこうする」などさまざまな意見が出されました。



親学習教材「がまんする」

「保護者とのコミュニケーションを円滑にするための○箇条」

次に、体験を通して保護者の思いや気持ちをイメージすることができたのでそのうえで「保護者とのコミュニケーションを円滑にするための○箇条」と題し、子育て中の保護者との「コミュニケーションを円滑にする」ために有効な点についてグループで話し合い、最後に全体で共有しました。各グループとも議論が盛り上がり、有意義な機会となりました。



全体共有の様子

グループで考えた「保護者とのコミュニケーションを円滑にするための○箇条」

- 保護者とのコミュニケーションを円滑にするための3か条
- 1 ありのままにする (オチ印象を良くする)
 - 2 お子さんの良い所をしっかりと報告しておく
 - 3 保護者の方の日常の話聞く
 - 4 自分の子育ての経験談を話す
 - 5 保育の知識を学ぶ

- 保護者とのコミュニケーションを円滑にするための4か条
- 1 気軽に行く場所をつくる
 - 2 話を聞いてあげる
 - 3 自分の経験(失敗エピソード)を話す
 - 4 共感する
 - 5

- 保護者とのコミュニケーションを円滑にするための5か条
- 1 話しやすい雰囲気づくり
 - 2 共感
 - 3 相手の立場になって想像する
 - 4 子どもをほめる
 - 5 自分の話を話す